

中種子特別支援学校 学校便り

なかとく便り



令和6年 10月28日 発行



学校挨拶「熊毛地区の特別支援学校として」

教頭 川添 直人

近くて遠い島と言われる種子島から見た屋久島（その逆も然り）。両島と口永良部島、馬毛島の4島で構成される熊毛地区。その熊毛地区の特別支援教育のセンター的役割を担っているのが、中種子特別支援学校である。

本校がある種子島に比べ支援が届きにくかった屋久島であるが、離島特別支援教育コーディネーターの屋久島への配置や特別支援教育の専門性の高い教職員の増加により、屋久島における特別支援教育の進展を感じている。

「なかとく夏季セミナー屋久島会場」と銘打った夏の研修会では、初の試みとして屋久島の特別支援教育研究会と共同で開催し、八幡小学校を会場に充実した研修会となった。

来年度、50周年を迎える中種子特別支援学校。時代の変化に合わせながらも、関係する皆様の御協力をいただきながら、熊毛地区の特別な支援を必要とする方々の力になれる専門家集団として在り続けたい。

【高等部屋久島支援教室】

希望教室という愛称で、ふだんは屋久島高校で学習しています。今年度は4人の愉快的仲間たちと元気にスタートしました。高校の学習(体育・音楽・家庭科)や行事等へも参加することで、生徒や職員間の相互理解にもつながっています。また、本校とのオンライン学習やスクーリングを通して、多くの刺激を受けています。友との出会いが、これからの力になるよう日々の笑顔を大切に過ごしています。



【小学部】 校外学習

低・中学年はピクニックに行くために必要なおやつや飲み物を考え、商品の選び方やお店での挨拶の仕方やマナー、お金の支払い方を練習しました。実際の買い物では、練習で買うと決めた商品を見つけ大喜びしたり、ピクニックでおやつを堪能したりできました。高学年は西之表港での修学旅行の集合場所を確認したりいろいろな船が出入りする様子を見学したりしました。また、ハンバーガー屋さんではお店でのルールや注文の仕方、お金の支払い方などを学習しました。スーパーでは、高等部卒業生の働く姿に刺激を受けたり、バックヤードの見学で商品に貼る値札を作ったりして貴重な体験をすることができました。



【中学部】学部レクリエーション大会

中学部では毎学期末に、学部レクリエーション大会をしています。「ボッチャ」の試合を通して、仲間との絆を深める良い機会として、継続して実施しています。生徒は、体育の授業で学んだ技や投げるコツを試合で披露する場面もあり、スーパーショットが出ると大歓声が上がりました。生徒と教師の混合チームで戦ったので、妙に力の入った教師の一投でゲームがひっくり返り、ひたすら謝る教師の姿もあり、笑顔あふれる楽しいレクリエーション大会となりました。



【高等部】種子島中央高校との交流学習

9月13日(金)に、本校にて種子島中央高校との交流を行いました。お互いに自己紹介や学校紹介をした後、レクリエーションではターゲットボッチャというゲームをしました。初めは緊張していた生徒たちも自己紹介や同じチームで協力してレクリエーションを行う中で次第に打ち解けていき、みんな笑顔で充実した活動をする事ができました。12月6日(金)は、本校生徒が種子島高校を訪問し、交流を行います。



【訪問学級】

屋久島で、小学部2年になった児童1名の訪問教育を実施しています(週3回、1回90分)。1学期は大運動会に向けて「ぎゅっと、ぱっ」を目標に、つかんで放す練習に取り組みました。2学期は学習発表会に向けて「ぎゅっと、Pi」を目標に今度はつかんで引っ張ることに挑戦します。

今年1年は触れることが苦手なことや不快なこと(砂、川の水、海遊びなど)に挑戦し、少しずつそれを克服し楽しめるようになることを目指しています。



本校に赴任して 中学部 川元 祐奈

本校に赴任して半年が過ぎ、学校や生活に慣れてきました。初めは分からないことだらけのスタートでしたが、学校全体や地域の方々に優しく温かく受け入れていただき、ほっとしました。

一番印象的だったことは子どもたちがいつも優しい言葉遣いで話していることです。きっと普段から保護者の方や先生方が優しい言葉掛けをされているのだろうなと感じました。キラキラした目で話しかけてくる様子に素直さや無邪気さも感じました。また7月には念願のロケット打ち上げを教室から生徒と一緒に見る事ができ、貴重な経験ができる環境にありがたさを感じました。種子島で経験した気付きや種子島のよさを伝えていきたいです。



福祉サービス等に関する説明会

7月9日(火)、今回初めて福祉サービス等に関する説明会を実施しました。熊毛地区の19箇所の関係機関や事業所が来校し、児童生徒や保護者、本校職員に施設の概要や作業内容等の説明をしていただきました。また、各家庭のニーズに応じた情報提供もしていただき、とても有意義な時間となりました。今後も関係機関と連携を図りながら、サービス等に関する情報を提供できればと考えています。



開かれた学校作りを目指して

池山建設様による校庭除草作業

今年度も地元企業の池山建設様が、ボランティアで校庭の除草作業をしてくださいました。大きく伸びた草があったという間にサッパリと刈られていました。新学期が始まると、児童生徒たちが早速サッカーをして元気に走り回っていました。

池山建設様、台風10号襲来直後のお忙しい時期にもかかわらず、ボランティア作業をしてくださり、ありがとうございました。



高校生ボランティア講座

種子島地区の高校生6人が、本校主催のボランティア養成講座に参加しました。熱心に講義を聴いたり、手話や車椅子乗車体験をしたりしました。「多数派、少数派関係ない、みんなが暮らしやすい社会になればいいと思った」「これからもっと周りを見て行動し、サポートができるようになりたい」等の感想が聞かれ、学びの時間になりました。



パラフットボール教室

9月17日に、デフリンピックサッカー日本代表選手を招いて、パラフットボール教室を実施しました。中・高等部混合でチームに分かれ、リズムに合わせてステップを踏むウォーミングアップや、手話を取り入れたシュート練習など、楽しく活動することができました。最後は、チームの仲間と声を掛け合い、パスを繋いで、ゲームを楽しむことができました。



防犯防災の取り組み

本校では4月17日に火災避難訓練、6月5日に不審者侵入時対応訓練、7月9日に緊急時引き渡し練習、9月5日に地震火災避難訓練を行いました。6月の不審者対応訓練では、西之表警察署の方に不審者の誘導について指導をいただき、対応について見直しを行いました。また、9月の地震火災避難訓練では、体育館や屋外の消火栓設備について確認を行い、緊急時の使い方を消防署や設置業者の方に指導していただきました。11月には、地震時の安全確保行動を身に付けるシェイクアウト訓練を行う予定です。緊急時の行動について、訓練を通して、改善を行い安全確保に努めていきます。

今年度の職員研修について

テーマ研修

今年度、「各教科等の資質・能力を育むための授業づくり」をテーマに掲げ、数学、美術、保健体育、生活単元学習、作業学習、自立活動のグループに分かれ、研修に取り組んでいます。授業を実施し、改善する流れの中で、児童生徒のよりよい学びにつなげていけるよう今後も研修を重ねていきたいと考えています。10月には、中間報告会、2月には、研修報告会を実施する予定です。それぞれのグループで深めた内容の共有も図っていききたいと考えています。

R6なかよう職員の誓い

今年度は、各月の服務に関する標語を職員で決めました。
信頼される学校で在り続けられるように、ここに職員一同で誓います！

- 4月 よいらーいき 夢と希望の なかとくへ
- 5月 思いやり あなたの心に 五月晴れ
- 6月 気をつけて じーちゃん ばーちゃん イボバック
- 7月 駐車時は 周りをよく見て ゆっくりと
- 8月 夏休み モラル守って 思いっきり リフレッシュ
- 9月 見えてるよ パソコン片手で 閉めるだけ
- 10月 疲れない？ 心と体 リフレッシュ
- 11月 生徒の笑顔が教師のよろこび
- 12月 いっどまで 仕事も車も 一時停止
- 1月 個人情報 学校外でもお口チャック
- 2月 大丈夫？ 思いやりの声掛けて 桜咲く
- 3月 楽しい夜 大事な話が 流出（もれてる）よ

ホームページ・ブログ公開中です

(ホームページ)

www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/nakatane-h/index.html



(ブログ)

nakatane-h-ss.edu.pref.kagoshima.jp/



